

第 116 号

育成会 会報

令和5年度版

発行所

一般社団法人
広島県手をつなぐ育成会

広島市西区打越町17-27
育成会総合福祉センター内
TEL (082)537-1773
FAX (082)537-1778
編集責任 金子麻由美

今年こそは、活動の再活性化！

一般社団法人 広島県手をつなぐ育成会 会長

金子麻由美



皆様、日頃より育成会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今年度は役員改選の年となり、3名の役員が交代いたしました。副会長として支えていただいた瀬良京子様、本人支援を中心に活躍いただいた安森博幸様、ご本人の立場で理事をしていただいた田中孝治様、これまで本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。私は会長職を引き続き就任することとなりました。障害のある人とそのご家族の幸せのために微力ではございますが、新役員の皆様と活動を進めて参りたいと存じます。

特にこれまで3年間、新型コロナウイルス感染症に翻弄されてきましたが、この5月より五類感染症の位置づけと

○ 相談会・おしゃべり会について
活動の再活性化のために「相談会・おしゃべり会事業」を企画し予算をつけました。支部の皆様も、しばらく会員や地域の皆様と合っしておしゃべりもできない状況が続ぎ、入所している我が子に会えない、思うように活動ができない等、様々なご心労があったことでしょうか。この3年間の思いを語り合いませんか。愚痴も結構です。こうありたいという気持ちを次に繋げていきましょう。人と人を繋いで思いを繋ぐ、そんな会になればと思っております。おしゃべりしながら、必要な情報や制度

について話のできる講師の派遣もいたします。各支部の皆様には申し込み方法をお知らせしますので、どうぞお早めにお申し込みください。お待ちしております。

○ 定時総会後の懇談会について

現在、当会の支部には、地域育成会24支部と施設保護者会55支部がありますが、定時総会に参加された皆様それぞれに分かれて懇談会を行いました（詳しくは3ページに記載）。

地域育成会の各支部には予め、地域生活支援拠点等、障害者自立支援協議会、地域の障害者福祉についてのアンケートを取らせていただきました。回答には「緊急時の受け入れが心配」「短期入所が足りない」「移動支援が少ない」等の意見が多く見られ、支援を増やすための市町への取組について情報交換をいたしました。一人一人の声は小さいけれど、育成会組織として声をあげていくことは大きな力となります。各市町の障害者自立支援協議会にできるだけ参画して、困りごとを知っていただき、解決策を協議するよう連携することが必要だと感じました。

また、施設保護者会では、保護者会のメンバーが親から兄弟姉妹に代わったり、合同墓の話が出たり、高齢化の話題が中心でした。皆様には「広島県サポートファミリー事業」で作成された「障害のある子どもの親のためのエンディングノート」『親心

の記録』の記入をお勧めします。この「親心の記録」は、親の想いを子に残せる大切な財産となります。皆様でおしゃべりしながら一緒にこの「親心の記録」について、勉強してみたいかがでしょうか？

○ ちよっと楽しみな各支部の動き

〈神辺育成会の取組〉
神辺育成会では、障害福祉に関係する方々に「地域生活支援拠点」についてのアンケートを開始されました。「地域生活支援拠点」は、知的・発達障害のある人が親亡き後も地域で最後まで安心して暮らすために、関係機関が協力して支える最後の整備体制作りと言われています。皆様の意識を高めて、行政に神辺のニーズを届ける根拠となることでしょう。今後の展開を楽しみにしています。

〈廿日市市手をつなぐ育成会の取組〉
「未来＋会議「障害基礎年金の勉強会」」
廿日市市手をつなぐ育成会の若手会員が活動している「未来＋会議」では、「広島県サポートファミリーを活用した障害基礎年金の申請」について、昨年度、全国手をつなぐ育成会の権利擁護センター障害基礎年金チームが作成したDVD「教えて！障害基礎年金」を活用してカフェで勉強会が開催されます。インターネットではできない、人との繋がりが広がります。

皆様の支部の活動のご報告を楽しみにしております。

広島県手をつなぐ育成会 新役員挨拶

広い視野での活動を

広島県手をつなぐ育成会副会長・
竹原市手をつなぐ育成会会長

高下 美智江



この度、副会長に就任しました。竹原市手をつなぐ育成会の高下です。よろ

しくお願いいたします。

竹原地域では、行政と協力しながら障害者の余暇活動や相談事業に力を入れていきます。コロナ禍での外出制限や活動自粛期間中には、手紙や電話などでの声掛けが中心でしたが、うやく対面での活動が活発になり、「今年は県大会も全国大会（中国・四国大会）も参加したいです。」と本人さんたちも楽しみにしています。そのような本人さんの気持ちを大切にして、安心して外出できるように支援していきたいと思っています。

私が県育成会に期待しているのは、横のつながりと広い視野を持った活動です。「つながり」は、広島県が海あり、山ありの風光明媚であるように、その地域によっても様々だと思えます。人口も多くサービスも豊富な地域と人口も少なくサービス事業所の少ない地域など格差がありますが、障害者やその家族の困り

感は概ね同じではないでしょうか。その様々な地域から出る困りごとを、自分事としてお互い耳を傾けて助け合っていけたら会員でよかったですと思えるのではないのでしょうか。

「広い視野」とは、自身の気持ちの持ち方でもありますが、困りごとや喜びは人それぞれです。自分の考えだけで決めつけて話していてもよいのでしょうか。活動の内容を一部の人で決めて本当に本人たちのためになっているのでしょうか。多くの意見を聞いていると先に進めないこともあるかもしれませんが、そのような気持ちを持ちつつ行動していきたいです。

これからも皆様と一緒に考えながら、よりよい活動にしていけたらと思っておりますのでよろしく願います。



理事就任ご挨拶

社会福祉法人たんぼぼ

理事 三上 寿和



この度、理事に選任されました社会福祉法人たんぼぼ理事の三上寿和と申します。

父「正浩」が在任中には、多くの皆様にお世話になり大変ありがとうございました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。在りし日の父は、育成会活動・事

理事就任あいさつ

はつらつ友の会

会長 河野 靖範



この度、理事に就任させていただきました。野靖範です。今年度から広島県

はつらつ友の会会長もさせていただきましたことになりました。広島県はつらつ友の会にはもう10年以上参加させていただき、副会長も6年間任務めさせていただきました経験と勉強をさせていただきました。会長は初めてのことなので分からない

業に賛同し精力的に活動していたことを強く記憶しております。

私自身、父のように活動をする自信はありませんが、父とは違った視点や立場で育成会活動・事業に寄り添っていただければと思います。わからないことばかりでご迷惑をおかけすることもあろうかと思いますが、よろしく願っています。

あわせて、広島県障害者福祉事業所協議会が昨年より再始動しております。県内の事業所にとって有意義な活動をしていきたいと思っておりますので、ご協力、ご参加のほどよろしく願っています。

ことや他のはつらつメンバーに迷惑がかかることもあるかも知れませんが、協力して頑張っていきたいです。初めて、はつらつ友の会に参加した頃に比べると、みんな年をとったり、人数も減ったりして、少し元気がないように思う時もあります。今年のはつらつ大会は尾道で開催されるので、現在のはつらつの役員、メンバーと力を合わせて、また以前のはつらつ友の会のように盛り上げていきたいと思えます。

これからは、理事としてもはつらつ会の会長としても頑張っ任務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。よろしく願っています。

役員改選

旧役員の皆様ありがとうございました

令和5年度一般社団法人広島県手をつなぐ育成会の定時総会を、5月28日(日)に育成会総合福祉センターにおいてハイブリッド開催いたしました。理事20名、監事2名、顧問1名の承認を得ました。このたびの改選により、3名の役員の異動がありました。

瀬良京子副会長におかれましては、平成20年から育成会の役員を歴任され、令和3年から副会長を2年間務めていただきました。神辺育成会、福祉法人の理事長としての手腕を本会で発揮されました。定年制により今後、理事としてご支援いただきます。

安森博幸理事におかれましては、平成21年から理事として務めていただきました。広島市手をつなぐ育成会の副会長を兼任され、広島市の本人会フレンドの会、広島県の本人会はつらつ友の会の支援者として、会の充実・発展をけん引していただきました。

田中孝治理事におかれましては、広島フレンドの会、はつらつ友の会の副会長の頃から役員を経験されてきました。平成29年からは、はつらつ友の会の会長となり、長きにわたり意欲的に活動され、本会の役員としても責務を全うしていただきました。

これまで、本会にご尽力を賜りました3名の役員の皆様に、厚く感謝申し上げます。



瀬良京子副会長



田中孝治理事 安森博幸理事

地域・施設懇談会開催報告

5月28日(日)、育成会総合福祉センターにて令和5年度定時総会を開催し、その後、地域育成会と施設保護者会に分かれて懇談会を行いました。その懇談会の様子を紹介します。

定時総会後の懇談会「地域育成会」

副会長 春木 強

地域育成会では、金子会長をはじめ18名の参加でした。懇談会のテーマは、「各地域における障害者自立支援協議会について」です。今年3月に、地域育成会24支部に、地域生活支援拠点等に関するアンケートを実施いたしました。県内各市町にある地域生活支援拠点等の状況や課題を把握し、地域育成会として何ができるか、何をしなければならぬのかを探るためのアンケートでした。地域にある機関が連携し、障害のある方、その保護者・家族が地域で安心して暮らすために必要なことを協議する「障害者自立支援協

議会」に育成会として参加できていない支部が6ありました。参加者の皆様からは、各支部の地域での「障害者自立支援協議会」の開催の状況や、福祉サービズ等について意見を交換しました。地域によって、格差があることが明確となりました。支部育成会が、積極的に地域の機関と繋がって、意見を出して行くことが今求められています。障害のある方、その保護者・家族の思いを大切にしたい施策が各地域で同じように行われていくことを願っています。

定時総会後の懇談会「施設保護者会」

前副会長 瀬良 京子

施設保護者会に参加して、いろいろな意見を拝聴しました。

最初に、「日中活動の施設職員が大量に辞めたことで支援ができない状況になり、利用者さんが行き場のない状態に置かれた。市の自立支援課にも相談をしている。」という現状を聞き、社会福祉法人の対応に大きな疑問を持ちました。

年々、会員が減少しているため、人材育成ができないことは地域育成会も同じです。その中で、役員等の主要メンバーは兄弟姉妹が引き継いでいるという話を聞き希望が持てま

した。

ある入所施設では、亡くなられた利用者のお骨を納骨する合同墓があり、年に1回は供養がされると聞き、これからはグループホーム利用者にとっても考えていかなければいけない課題です。改めて、施設と保護者・家族が本人を中心にしっかりと意思疎通ができるようになりたいです。

通所施設も入所施設も大切な場所です。施設保護者会同士が繋がって情報交換しながら、保護者会としてできることを一緒に考えたいと感じました。

はつらつ友の会代表者会も新メンバーが加わり、役員も新しくなりました。
令和5・6年度のメンバーです。皆さん、よろしくお願ひします。

副会長 (3名)

沖田 信之 さん

(大竹NAKAMA会)



皆で支え合っている。

渡辺 敬太 さん

(エンジョイクラブ尾道)



県大会現地実行委員長としてがんばります。

岡本 仁 さん

(福山仲良し会)



皆でがんばっている。

会長

河野 靖範 さん

(美土里たんぽぽ友の会本人部会)



新会長としてがんばります。

委員 (県協議会委員・各1名)

寒林 倫由 さん

広島県障害者施策推進協議会委員
(因島ピースの会)



大変なこともあると思いますが、精いっぱいがんばりたいと思います。

熊澤 有馬 さん

広島県障害者自立支援協議会委員
(庄原さくら学園青空コスモスの会)



本人活動を、また仲間とやりたいなあ。

書記 (2名)

上山 新 さん

(広島フレンドの会)



みんなで一致団結！
心を一つにしよう。

栲木 美奈子 さん

(神辺さくらの会)



皆さんと一緒に活動が
がんばりますので、よろしく
お願いいたします。

委員

垣内 理一郎 さん

(竹原すずらの会)



ほくは平日は「平成会あさひ」で働いています。休みの日は本人部会すずらの会
で仲間と活動しています。竹原市内に(男子)グループホームが
できれば、そこで生活したいと思っています。

城本 房江 さん

(呉うたう会)



委員になって、言えなかった
ことがはっきり言えるよう
になりました。

宮田 陽子 さん

(廿日市さくらんぼの会)



ひとりで考えないで、み
んなでがんばろう。

寺尾 明 さん

(因島チャレンジの会)



新たに代表になられた
方々、おめでとうございま
す。がんばってください。

広島県障害者福祉事業所協議会総会について

広島県手をつなぐ育成会副会長・広島県障害者福祉事業所協議会会長

春木 強

本会は、広島県手をつなぐ育成会金子会長の下、会長春木強、副会長高田篤実、幹事三上寿和に広島県手をつなぐ育成会事務局の中尾常務理事、宝田事務局員、郡司事務局員の体制で活動します。本年度より新たに二つの部会を立ち上げました。若手部会は高田副会長、管理職部会は三上幹事が部長を務めます。

令和5年度総会は、6月16日（金）に対面・オンラインによるハイブリッド形式で行いました。参加事業所は4事業所と加盟16事業所の4分の1程度でしたが、この数年間活動が停滞していた協議会にとっては、第一に活動活性化に向けて研修

の強化、若手・管理職部会の立ち上げについての承認、部会の発足と同時に事業所見学会の開催決定。第二に平成24年度以降会則の改正がなかったために現状との乖離が見られた会則を、今回の総会で現状に即した会則に改正されました。

本年度に入り、すでにG7広島サミット応援フェアを開催するなど今までとは違った活動も行っています。研修・部会・販売活動を通じて手をつなぎ合える仲間を増やせばと思います。総会終了後は、G7広島サミット応援フェアの慰労も兼ねた懇親会を開催し楽しいひと時を過ごしました。懇親会については、定期的に開催できることを切に願っています。

G7広島サミット応援フェア開催

令和5年5月17日（水）午前10時から午後4時まで、広島駅南口地下広場にて広島県手をつなぐ育成会広島県障害者福祉事業所協議会が主催して、「G7広島サミット応援フェア」を開催いたしました。広島サミット県民会議から、G7広島サミット応援の募集があり応募したところ、4月4日に認定通知書が届きました。

本事業所加盟16事業所は、まず事業所における県民会議公式ポスターの掲示及びチラシの配付の取組を行いました。次に、G7広島サミット

応援フェアへの参加を呼びかけたのですが、コロナ禍の影響が大きく、参加を希望する事業所が少ないことから広島市就労支援センター、広島県就労支援センターにお声を掛け、参加事業所を募りました。結果、県内22事業所の「G7広島サミット」ロゴを貼った自主製品の販売、2事業所のステージ発表、9事業所による大型ビジョンを使っている作業所紹介を行いました。ステージでの合唱、ヒップホップダンスでボルテージは最高潮に。各事業所の利用者さ



素敵な歌声♪八木園の皆さんの合唱



素晴らしい作品の数々・三浦大地美術館

んがステージに集合し、会場全体で歌い、踊りました。「G7広島サミット応援フェア」のポスターを作成していただいた三浦大地さんが来られ、「三浦大地美術館」を開き、目を見張る素晴らしい作品の展示も行いました。コロナ禍で、閉塞感が



ラストはLOVEARTさんのパフォーマーと会場が一体に！



22事業所が様々な種類の商品を販売

強かっただけに、皆さんが元気になり、事業所同士がつながることができた「G7広島サミット応援フェア」でした。「楽しかった」「またやりたい」とのお声をたくさんいただきました。来年度、「事業所フェスタ」として開催する予定です。



あべ べしゅうや 安部 柁也さん

「監督、コーチ、チームメイトの方々に、チームの合同練習に励みました。」



祝！全スポ出場！

令和5(2023)年10月28日(土)～30日(月)

福山県総合体育センター / 広島県総合体育センター

ソフトボールのチームに入ったのは、昨年の4月でした。入って一か月後、全国障害者スポーツ大会の中国・四国地区予選がありましたが、チームメイトの大人の方々に自分から話しかけることができな...

「全国大会へ向けて」

広島県手をつなぐ育成会理事の海段大作氏が監督を務めるソフトボールの広島県チームが、全国障害者スポーツ大会予選会の中国・四国大会で優勝し、鹿児島県で開催される全国障害者スポーツ大会に出場することになりました。選手、保護者の皆さんから、全国大会出場への意気込みをいただきました。

黒瀬特別支援学校 高等部 3年生 安部 柁也

自分から話しかけるようになり、冗談に大笑いしながら迎えた今回の予選大会は、一年前とは違い、「全国大会へ行く」という強い気持ちで挑むことができました。全国大会では、支えてくださる方々に感謝し一番のメダルを目指します。

福山北特別支援学校 高等部 3年生 大竹 龍輝



おおたけりゅうき 大竹 龍輝さん

僕にとって、今年の中国・四国ブロック予選会は、二度目の出場でした。昨年度は、初めての試合で緊張して、成績を残せず悔しい思いをしました。今年には「必ず優勝をするぞ」という思いで、一年間がんばってきた成果を発揮することができました。

最後まで集中し、粘り強く戦い続けることの大切さを学ぶことができ、自分に自信が持てるようになりました。10月の全国大会でも、広島県代表として優勝を目指します。チーム一丸となり、チームに少しでも貢献できるように、自分の持つ力を

全力でグラウンドで発揮できるようにがんばります。また、感謝していただけのような試合にしたいと思います。応援、よろしく願います。

広島北特別支援学校 中学校部 2年生 坂本 裕大



さかもとゆうだい 坂本 裕大さん

ぼくは、れんしゅうをいっしょうけんめいしてきました。チームのみんなは、やさしかったです。かんとくやおかあさんとおとうさんたちが毎日れんしゅうを見にきてくれるのがうれしかったです。大きな大会でかたことがうれしかったです。ぼくは、はじめて大きな大会に出ました。すぐきんちようしたけど、大好きな野球をのびのびとプレーしたことがすごくうれしかったです。次は、全国大会でゆうしようをするぞ。

初心をわすれず

坂本 裕大 保護者

今まで、裕大は野球をしたくても普通のチームでは裕大のことをわかってくれる人は数少なく、野球をする機会はありませんでした。学校で今のチームを知り、初めて体験をさせていただきました。裕大が伸び伸びと野球する姿を見ることができました。本人は、すぐにチームに入りたいと言いました。入部届けを出し練習がある日をまちどおしそうに待っている裕大の姿を見てき

ました。練習が始まると気持ちを入れ替えて伸び伸びプレーをする姿を見ました。監督、選手の皆さんは、裕大の言葉使いや態度を気にかけてながら常に見守ってくださいます。監督、コーチ、選手のもとで、このまですぐ大きく成長しました。選手の皆さんは裕大の気持ちをわかってくれて、一緒に励みながら皆も裕大と一緒に成長できれぱと思います。裕大は野球を通して監督、選手の皆さん、保護者の皆さんに助けてもらい「これまで大きく成長したと思います。この度の試合で私たち、本人も初めての体験で、まさか優勝するとは思っても寄らないことでした。試合では、色んなチームがあり、皆で助け合い勝ち進んできたんだと感じさせられました。試合を見る度にチーム全員が声を掛け合い、励まし合い、この勢いは止まりません。私自身、チームに引き寄せられていました。このチームは、誰もがお互いのことを分かり合える優しい、仲の良いチームです。初心を忘れず、いつものプレーをすれば、必ず前は開けるはず。やればできる。次は、全国大会が待っている。この勢いを忘れず、前を向いて頑張ってください。そして、全国制覇します。失敗を恐れるな。全力を出しきろう。これからもよろしくお願ひします。



ひろしまけん がんばれ！ 広島県チーム！

「サンフレッチェ広島レジーナ試合観戦」をして 三好千絵

令和5年6月3日、広島広域公園にご招待をいただき、サッカー観戦へ行きました。

私の娘菜々海は、広島市立広島特別支援学校へ通う10歳のダウン症の女の子です。心臓病もあり、お座りが完全ではありません。今年には左右の足の長さの違い、右股関節の脱臼が指摘されました。

この度のサッカー観戦の募集は「知的発達障害児者と家族及び施設等引率者」と記載があり、身体障害児でも対応いただけるのかと思いましたが、温かいご配慮をいただき参加可能でした。身体障害児にとつて、出掛ける際の問題は排泄です。菜々海は利尿剤を服用しており頻回に出ます。身長は98センチ、体重は約15キロですが、力が強くなり、ベビーベッドでは対応不可能です。オムツ交換のできる場所の確保、もしくはベッド付きトイレが助かります。年齢とともに認知も進み、雨の日にバギーで雨除けを装着すると嫌がりません。天候によって左右される場所、初めての場所は親子共々身構えてしまいます。

そのため、事前に問題を一つ一つ解決し、育成会の力をお借りすることでサッカー観戦もできました。ただ一つ、車イス席は育成会の皆様とご一緒に観戦する事ができずと



臨場感あふれる最前席で観戦



選手とハイタッチする菜々海さん

も残念でしたが、それでも一度経験すると次回へ繋がります。育成会へ入会して2年目。応援大好きな菜々海がサッカー観戦を通じて生で観て、試合後の選手とのハイタッチ、「サンチュエ」と「フレッチェ」との記念撮影も大喜びでした。色々大変な状況下でも楽しい出来事があれば親子共々頑張れます。菜々海には8歳の妹穂波がいます。私は姉妹仲良く楽しく過ごし、共に成長して欲しいと願っています。今回、貴重な経験する機会をいただきました。一般社団法人生命保険協会広島県協会の様、サンフレッチェ広島レジーナの関係者の皆様、広島県手をつなぐ育成会の皆様、ありがとうございました。

互助制度（旧付添看護料共済）

広島県手をつなぐ育成会 会員限定の保険です

- ①入院保険 病気やケガで入院したときの補償
- ②傷害保険 本人の傷害（ケガ）の補償
- ③他人への損害賠償金 他人への損害賠償

- 知的障害のある方対象
- 特別な審査は不要

プランは2つあります Aプラン（12,000円）、Bプラン（18,000円）／年間
補償内容（Bプランの場合 年間掛金 18,000円）

入院保険	・付添看護保険料	1日に付き	5,000～8,000円
	・差額ベッド費用	1日に付き	3,000円までの実費
	・入院諸費用	1日に付き	1,000円
	・入院一時金	1入院につき	5,000円
傷害保険	・ケガによる入院	1日に付き	3,000円（180日限度）
	・ケガによる手術		15,000・30,000円
	・ケガによる通院	1日に付き	1,000円（90日限度）
	・ケガによる後遺障害		8万～200万円
	・ケガによる死亡		200万円
他人への損害賠償金	・対人・対物 1事故		5,000万円 限度（自己負担なし）

詳しい資料のご請求、お問い合わせは下記までどうぞ。
《共済事務局》 一般社団法人 広島県手をつなぐ育成会
電話 082-537-1773 FAX 082-537-1778
《保険委託引受会社》 AIG保険会社 広島支店
担当 ジェイアイシーウエスト広島株式会社
電話 082-511-7025 FAX 082-511-7026

☎お気軽にお電話 ください。



「相談会・おしゃべり会」を実施します！

新型コロナウイルスの影響で、県育成会の活動はすっかり停滞してしまい、定例の活動はもとより、会員同士が気軽に対面で会話をする機会も失われつつありましたが、そういった状況を払拭すべく、相談会を兼ねたおしゃべり会を新事業として実施いたします。地域育成会、施設保護者会の支部ごとで、困りごとや悩みごとはもちろん、聴きたいことなどを自由に語り合ってください、共有することで今後の本人さんへの支援や自分たちの活動の糧にいただければと思います。開催に係る費用を県育成会から助成いたしますので、ぜひご利用いただき活動を再活性化してください。

県育成会事務局より募集要項を配付いたします。開催を希望される支部は、実施希望書と運営計画書を県育成会事務局へ提出していただきます。その計画書を三役会議で協議して、開催支部を決定いたします。開催後には実施報告書、決算書、アンケートなどを提出していただきます。なお、提出書類は、チラシに至るまで全てひながたを作成しています。運営や書類の記入、メイン講師の選定等につきましては、担当副会長がご相談に乗りますのでご遠慮なくお問合せください。

有意義な会の開催に向けて、ご協力を賜りますようお願いいたします。

新型コロナに関するお知らせ

【全国手をつなぐ育成会連合会より】

新型コロナ災害対策本部の解散について

全育連では、新型コロナを疫病による全国規模の災害として捉え、東京事務所を「災害対策本部」として衛生用品の配送や省庁等への緊急要望活動などを展開してまいりましたが、分類が「5類」に変更されたことに伴い、これらの対応を修了し、災害対策本部を解散することといたしました。

本部開設中は、皆様からの多大なるお力添えを賜り、厚くお礼申し上げます。今後とも、全国手をつなぐ育成会連合会の活動にご協力いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

【広島県手をつなぐ育成会

「互助制度」(保険制度)からのお知らせ】

新型コロナに関する特例の廃止について

互助制度のBプランに加入されている方は特例として、新型コロナウイルス感染時に自宅、施設等において療養された方にも給付の対象としておりましたが、感染症法の分類が2類から5類に引き下げられた5月8日をもって特例を廃止いたしました。

なお、廃止の日までに感染の方は、申請を受け付けおりますので、以前に感染されて請求をされていない方を含めコロナ感染が確認された方は、広島県手をつなぐ育成会事務局まで、お気軽にお問合せください。

新刊のご案内

『自閉スペクトラム症のきみに家族はすったもんだ』

全国手をつなぐ育成会連合会の機関誌「手をつなぐ」に好評連載中の4コマまんが「毎日すったもんだ」が一冊の本になりました。(1,300円+税10%)

購入希望は広島県手をつなぐ育成会事務局まで。



だい かい ひろしまけん ちてきしょうがいしや たいがい
第28回 広島県知的障害者スポーツ大会(ボウリング)

「2023ボウリンピックinひがしひろしま」 開催のお知らせ

かい さい び れいわ ねん がつ ふつか ど
開催日 令和5年12月2日(土)

かいさいばしょ か も ひがしひろしまし
開催場所 賀茂ボール(東広島市)

くわ あんない がつごろ はいふ
詳しい案内は、9月頃に配付します。